

経営比較分析表（令和元年度決算）

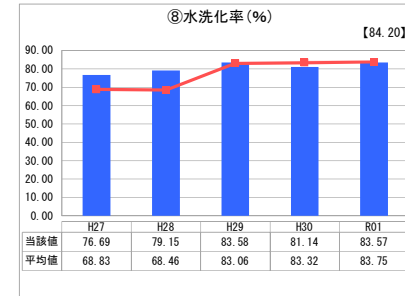
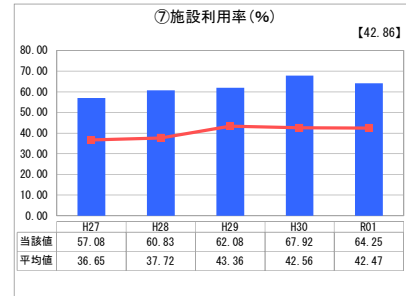
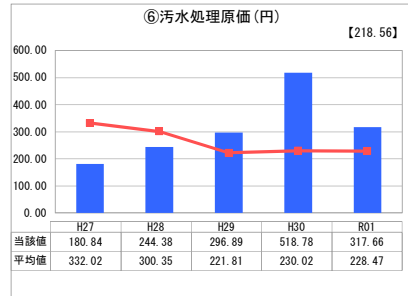
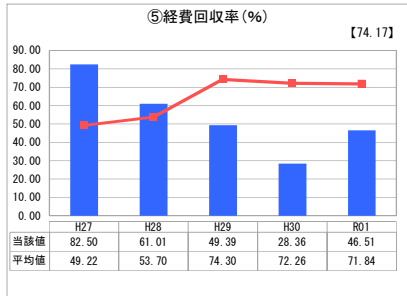
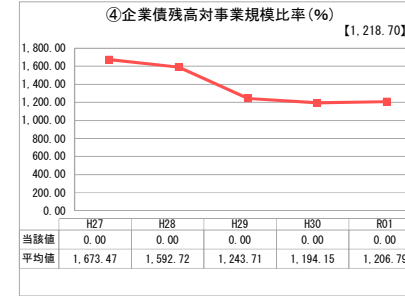
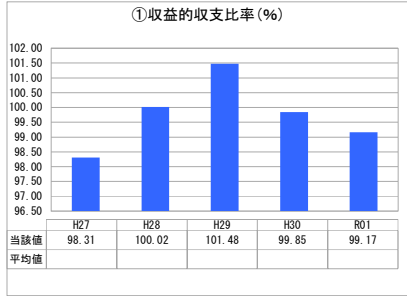
高知県 香美市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	9.10	73.92	2,420

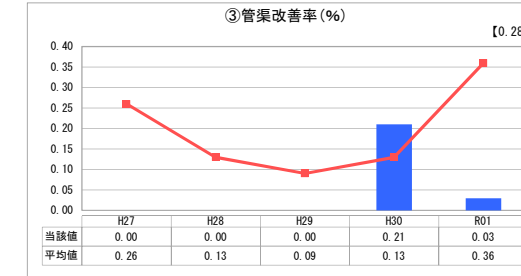
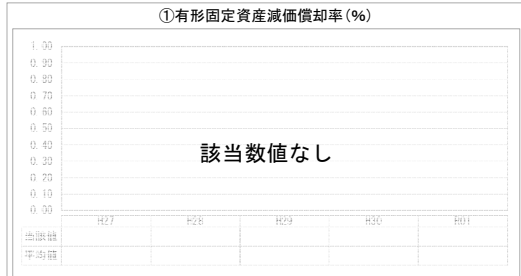
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,088	537.86	48.50
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,362	1.02	2,315.69

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

- 経営の健全性・効率性について
- ④企業債残高対事業規模比率については、地方債償還金は一般会計からの基準内繰入金で賄われており、当事業が負担しているものはない状況です。
- ⑤経費回収率については、使用料収入で維持管理費を賄っていない為、一般会計からの繰入金に依存しており、健全経営とは言えない状況となっています。
- ⑥汚水処理原価は、処理場維持管理費の増減により、増減しています。
- ⑦施設利用率は、横ばいとなっています。
- ⑧水洗化率は、施設等の整備も完了していることから、今後の飛躍的な上昇は見込めない状況です。

2. 老朽化の状況について

平成7年事業開始、平成15年供用開始した比較的新しい施設です。平成25年度に管路や施設の整備は完了しています。また近年、伏流水が原因と推察される洗掘による管渠やマンホール周辺の陥没等が増加していることに加え、不明水の流入によってマンホールポンプや処理施設に負荷が掛かり、機械類の故障や摩耗も増加しています。これらの原因によって維持管理費が増加しているほか、有収率が低調となり、有収水量の適正確保にも支障をきたしております。毎年不明水調査を行っており、令和元年度にも、発見された破損箇所等の管渠の取替を行いました。また、管路や施設の老朽化対策として、平成30年度から令和2年度にストックマネジメント計画(維持管理計画)の策定を実施し、計画的に施設の更新・維持管理を行っていく予定です。

全体総括

平成25年度に面整備は終了していることから、企業債債務残高が年々減少する傾向にあります。しかしながら、下水道使用料収入の大幅な増加は見込めず、今後の経営は、大変厳しい状況となっており、今後も不明水の発生区域を特定し、対策へ取り組むとともに、接続勘契による有収水量の適正確保に努めます。

また、令和3年度から料金改定を実施し、使用水量1m³あたり税込33円を増額します。(ただし、経過措置として、令和3年4月検針分から令和4年3月検針分までは現行の料金で据え置き、令和4年4月検針分から令和9年4月検針分までは使用水量1m³あたり税込16.5円の増額となります。) 今後は、適切な料金収入の確保を図りながら、経営状況の改善に努めていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。